



## 新しい1年 新しい一歩

こんにちは。古市教室の高木奈穂子です。久しぶりにこの欄を担当するということで、前回に続き、趣味である登山のお話を書こうと思います。

仕事がお休みの日には、一人でも山へ出かけてしまうほど登山に夢中なのですが、我が家の登山部(私と夫、たまに次男)では、昨年度ひとつのテーマを掲げて活動してきました。

それは「毎月、家族の誰かがまだ登ったことのない山へ行く」というものです。

1月は滋賀県の金勝アルプス、2月は兵庫県の須磨アルプス、3月は雪の残る京都府の愛宕山、4月の春期休暇には鹿児島県の屋久島へ。そして5月は、三重県の大杉谷から大台ヶ原へ向かうルートに挑戦しました。

このあとも毎月、新しい山に挑戦し続けているのですが、今回はこの大杉谷の体験を少し詳しく

書こうと思います。

大杉谷は、富山県の黒部峡谷、新潟県の清津峡と並び「日本三大渓谷」のひとつです。しかし「大杉谷」と聞いてピンとくる人は、意外と少ないかもしれません。では「大台ヶ原」はどうでしょう。地理に詳しい方なら「日本でも有数の多雨地域」と思い浮かべるかもしれませんね。ドライブウェイ(冬期は通行止め)が通っているため、観光で訪れたことのある方もいるかもしれません。

もちろん今回は登山ですから、車ではなく、1泊分の荷物を詰めた重たいザックを背負い、一歩ずつ自分の足で進んでいきます。

スタート地点の大杉谷登山センターを出発し、いよいよ大台ヶ原へ向けて歩き始めます。渓谷沿いの登山道は足場が狭く、右手で鎖をつかみながら慎重に進むスリリングな道のり。うっかり足を滑らせれば谷底へ…という箇所もあります。川沿いを進みながら徐々に高度を上げ、いくつもの吊り橋を渡ってたどり着くのが、宿泊地の「桃ノ木山の家」です。

ここには温かい夕食とお風呂(川沿いのため水



▲桃ノ木山の家の中。  
みんなで布団を並べて寝ます。



▲桃ノ木山の家  
吊り橋の向こうにあります



## 細越のちょっとイイ話

TEACHER'S VOICE 細越 弘明(パスカルキッズFC担当)

### 早くも2度目のお正月!

2024年3月に開智総合学院へ入社してから、早くも2度目のお正月を迎えることになりました。

年末年始になると毎年感じるのですが、月日の流れが年々早く感じられ、驚くばかりです。

この機会に、入社してから今日までの歩みを少し振り返ってみたいと思います。

入社当初は、各教室からご注文いただいた教材・教具の出荷業務や、パスカルキッズFCにお申し込みいただいた方への開校案内資料の送付が主な仕事でした。

そうした業務を進めながら、次に取り組んだのが「教材の一元管理」です。7教室に分散して保管されていた教材を、カイコベ蒲生教室2階へ集約することがパスカルキッズFC会議で決まり、2024年5月から8月までの約4か月をかけて随時移動を行い、無事に集結が完了しました。

長期間にわたり教材の保管にご協力いただいた各教室の先生方には、改めて感謝申し上げます。

そして2024年9月頃からは、新教室獲得に向けて大阪府下の学習塾、ピアノ教室、英語教室などへの訪問営業を開始しました。

日々営業を行う中で感じたのは、小規模学習塾の開塾が予想以上に進んでいること、そして駅前を中心に大手学習塾の進出が非常に多いという現状です。

入社2年目の私が言うのも恐縮ですが、そんな環境の中でもカイチが2,000名を超える生徒さんに通っていただける学習塾へと堅実に成長していることに、改めてその凄みを感じました。

そして昨年2025年のパスカルキッズFCのマインドを変えたのは何といても「勉強会を2度開催したこと」です。

源が確保できる)、そして布団があります。しかし、無いものもあります。テレビは無く、スマホも圏外。さらに消灯は午後8時。夕方に到着し、早めの夕食を済ませているので、時間がたっぷり余ります。

それでも、他の登山客と話したり、外の景色を眺めたりしているうちに、不自由さがだんだんと「贅沢な時間」に変わっていくから不思議です。

消灯後は真っ暗で、聞こえるのは川の流れる音だけ。5月末とはいえ大阪市内とは比べものにならないほど寒く、防寒着は自分で用意しなければなりません。暗がりの中でトイレに行くにはヘッドライトが必要になるなど、こうした環境では「準備を整えること」の大切さを改めて感じます。

翌朝。早朝に大台ヶ原・日出ヶ岳を目指して出発します。川沿いを進み、いくつもの急登を越え、滝を横目に歩いていくと、目の前には息をのむほどの絶景が広がっていました。

その景色は、自分の足で歩いてきたからこそ出会えたもの。写真や画面の中で憧れていた光景が、そこに実際に広がっていたのです。

いよいよ新しい年が始まります。春には新生活を迎える人もいますよね。

この節目をきっかけに、興味のあることや、やってみなかったことを始めてみるのも良いかもしれません。少しずつでも歩みを進めれば、思いがけない景色がきっと広がっているはずです。

第1回目は7月6日、大阪市天王寺区の万緑会教室にて、第2回目は10月26日、東京都品川区の貸会議室にて開催いたしました。

どちらの会でも、加盟教室の先生方による事例紹介や、マーケティングの秘訣についてお話を共有させていただきました。

昼食を交えながら約6時間ご一緒する中で、先生方とより親しくなることができ、また先生方同士が横のつながりを深め、熱心に情報交換されている姿が昼食時や閉会後でもあちこちで見受けられました。

さらなる成長を目指して今年も大阪と東京にて2回の開催を予定しております。

そしてこの2回の勉強会の後、ランディングページの改良が功を奏したのか、新たに4教室の加盟をいただくことができました。

ようやく良い風が吹き始めたパスカルキッズFC、2026年はさらに忙しくなりそうでドキドキ感とワクワク感が交錯する激動の一年になるかもしれません。

そして最後まで読みいただきありがとうございました。



▲パスカル品川の勉強会にて

■1月12日(月)は公立Vもします。

■1月17日(土)は英検のテスト日です。

■2月4日(水)・2月5日(木)は小学診断テストを実施します。

■2月7日(土)・14日(土)・21日(土)は新年度入塾説明会を実施します。入会をご希望の方は是非ご参加ください。

■2月8日(日)は珠算上級検定です。

■2月10日(火)は私立高校入試日です。

受験生のみんなガンバレ!

■2月10日(火)は全コース休校日です。

### 生徒と保護者と先生の共育ニュースレター



January 2026  
Vol. 160  
毎月10日発行

【本 部】  
城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI 201  
TEL.06-6939-0008

【今福教室】  
城東区今福西 2-9-20  
TEL.06-6934-4662

【諸口教室】  
鶴見区諸口 4-14-9-1F  
TEL.06-6912-3984

【今津教室】  
鶴見区今津南 1-6-2-1F  
TEL.06-6167-9722

【高殿教室】  
城東区成育 5-22-10-2F  
TEL.06-6786-1008

【エニグマ】  
中央区谷町 9-4-5-3F  
TEL.06-6777-1563

【カイコベ】  
城東区今福西 3-4-9  
TEL.06-6180-6565

【今福第2教室】  
城東区今福西 2-16-8  
TEL.06-6931-2000

【関目教室】  
城東区関目 4-6-17-2F・3F  
TEL.06-6934-8117

【古市教室】  
城東区古市 3-21-8  
TEL.06-6931-0467

【カイチ予備校】  
城東区今福西 1-10-17  
TEL.06-6935-2220

【万緑会】  
天王寺区上本町 6-9-10-3F  
TEL.06-6772-5011



高木 秀章(塾長)

## 不安を力に変える受験の心得

皆さん、あけましておめでとうございます。今年どうぞ宜しくお願いいたします。

受験生の皆さんは、いよいよ1カ月後に私立高校入試を迎えます。新年の凛とした空気の中で、緊張を感じている人もいるでしょう。

まず大切なのは「体調管理」です。手洗い・うがいを徹底し、深夜まで勉強する生活は改め、朝型に切り替えてください。そして、しっかり食べることも忘れずに。これから寒さはさらに厳しくなります。まずは「カラダ」。本当に大切です。

そして、もう一つ大切なのが「心」。今回は、この時期に必要な“心の持ち方”についてお話しします。

### ■ 不安との向き合い方

今、皆さんは私立高校の赤本に取り組んでいると思います。

合格点に届いている人もいれば、まだ届いていない人もいるでしょう。点数が取れていても「本番は大丈夫かな」と不安を感じる人は多いはずです。実は、不安とは「今の自分」と「行きたい場所」の差を感じている状態です。

この差を知らなければ、埋める方法を考えることはできません。そして、不安があるからこそ「埋めてやろう」という力が湧いてきます。つまり不安は、嫌なものではありませんが、悪いものではありません。むしろ、真剣に志望校を目指している証です。

不安を感じたら、まず“目標との差を埋めるために何をすべきか”を書き出してください。テキストの目次を見ながら不安な単元を書き出すのも良い方法です。書き出すことで課題が具体的にになります。あとは先のことを考えず、淡々と一つずつ潰していきましょう。

①少し顔を上げて未来を見て不安を感じる。

②不安を感じたら、埋めるためにすべきことを書き出す。

③書いたら、今度は足元だけを見て一つずつ潰す。

周りを見れば、自分より成績の良い子や余裕のある子がいるかもしれませんが、でも、周りは見なくていい。今日すべきことだけに集中し、自分の歩みを進めること。それを続けると、不安は自然と小さくなっていきます。

ダメなのは、不安に振り回されて立ち止まることです。

不安を受け止め、目標との差を理解し、その差を埋める力に変えていきましょう。

### ■ 努力について

「努力は本当に必要なのか」「才能や能力の方が大事なのではないか」

そう思うこともあるでしょう。努力しても成果が出ないと、「自分には向いていない」と諦めたくなることもあります。最近は“要領良く”という風潮も強く、努力が軽んじられがちです。

しかし私は、能力以上に努力が大切だと考えています。理由は2つあります。

### ① 努力の過程で、自分の能力や適性に気づける

今、皆さんが受験勉強を頑張っているからこそ、自分の得意・不得意が見えてきています。

過去問を早く解けるけれどケアレスミスが多い人、ゆっくりだけど正確な人。努力を重ねる中で、自分の特徴がわかり、改善の工夫が生まれます。

不得意科目を重点的に勉強したり、ミスが多い人は不安な問題に印をつけて見直しを効率化したり、解くのが遅い人は時間のかかる問題を後回しにしたり。

こうして自分の能力を活かせるようになります。

これは大人の仕事と同じです。努力して苦しむ時期があるからこそ、自分なりのスタンスが身につき、仕事が面白くなるのです。

### ② 努力は人格を高める

努力するには、自分と向き合い、自分に克つ必要があります。

カイチは決して楽な塾ではありません。宿題も多いし、先生は鬼のように厳しいし、12月30日まで合宿もあります。でも、今のみんなの顔はどうか。凛としていて、充実した表情をしています。

本当の喜びは、努力の向こう側にしかありません。

社会が求めているのは、ずる賢さでも要領の良さでもなく、努力を積み重ねられる人です。努力は人格を高める——そのことを覚えておいてください。

### ■ 最後に伝えたいこと — 目標を紙に書くこと

努力している皆さんだからこそ、最後に伝えたいのは「目標を紙に書くこと」です。

不安は誰でも嫌なものです。でも、不安は「目標と自分の位置の差」を教えてくれるサインです。不安を感じたら、その理由を書き出してみてください。

実は、目標を紙に書く人は達成率が高いことが科学的にわかっています。私が出会ってきた成果を出す人たちは、例外なく目標を紙に書いていました。

皆さんも「〇〇高校に合格する」と紙に書き、机の前に貼ってください。

眺めると、わくわくすると同時に不安も湧いてきます。

その不安が「すべきこと」を教えてくれます。

あとは、自分を律して努力し、一つずつ潰していく。

それが合格への最短ルートです。

受験は、将来社会に出たときの「努力と工夫の準備運動」です。

今の経験は必ず未来につながります。

そして、将来本気で打ち込みたいものを見つけたとき、今日の“不安と努力”の話を思い出してほしいと思います。

春にはみんなで笑えるように、先生たちも全力で支えます。

一緒に頑張ろう。



## Focus



## CLASSROOM REPORT 教室レポート

## ありがとうがあふれる学童で

アイラ・イルストレ(かいち学童)・トーキングキッズ

初めて学童で働くことになったとき、正直なところ、不安な気持ちで一杯でした。子供たちと上手に関われるだろうか、ちゃんと役に立てるだろうか。そんな思いを抱えながら迎えた初日でした。

けれど実際に過ごしてみて、学童は「ただ子供達を預かる場所」ではなく、子供たちが心から安心して過ごせる、大切な居場所なのだと気づかされました。毎日の遊びや生活の中で、子供たちはたくさんのことを学んでいます。友だちと笑い合い、時にはけんかをしながら、人との関わり方を少しずつ身につけていく姿がありました。最初は自分の気持ちを言葉にできなかった子が、ある日、小さな声で「嫌だった」「悲しかった」と伝えてくれたとき、胸が一杯になりました。ほんの少しの変化でも、その一歩一歩が確かな成長なのだと感じました。

長期休みに入り、学童では冬のイベントやクリスマスの準備が進んでいました。「子供たち、喜んでくれるかな」「きっと思い出になるよね」そんなふうに話し合う先生たちの姿が、今も心に残っています。子供たちの笑顔を思い浮かべながら、真剣に、そして温かく意見を出し合う姿から、学童はたくさんの人の想いに支えられている場所なのだと感じました。

クリスマス会では、私たちが用意したクリスマスソングに合わせて、子供たちが元気いっぱい歌って



れました。少し照れながら歌う子、手をたいて楽しそうにリズムをとる子。部屋いっぱいに広がる歌声は、とても温かく、幸せな空気に包まれていました。その時間が楽しくて楽しくて、見ているこちらまで自然と笑顔になりました。

クリスマスカード作りの活動では、色紙を選び、一文字一文字、一生懸命に言葉を書く子供たちの姿がありました。「いつもありがとう」「だいすきだよ」今年一番感謝を伝えたい人のことを思い浮かべながら、心を込めて作ったカードやプレゼントを、大切に抱えている姿は、とても愛おしく、胸が熱くなりました。“誰かを想う気持ち”が、こんなにもまっすぐに表れる瞬間があるのだと、子供たちから教えてもらった気がします。

学童の仕事は、ただ見守ることだけではありません。さりげなく声をかけること、困っているときにそっと寄り添うこと。そうした一つひとつの関わりが、子供たちの



「安心」につながっているのだと思います。安心できる場所があるからこそ、子供たちは自分らしく笑い、挑戦し、成長していけるのだと感じました。

はじめての学童での経験を通して、子供たちの成長をこんなにも近くで見られることは、とても尊く、大切な仕事だと心から思っています。これからも、一人ひとりの気持ちを大切にしながら、子供たちが「ここに来るとほっとする」と思える場所であり続けられるよう、関わっていききたいと思っています。

学童の先生たち一人ひとりの想いがあってこそ、開智にこのような素敵な学童ができていのだと感じました。とても素晴らしいことだと思います。



## Education



## KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

クリスマス会in2025  
～25年以上続くカイチの文化～

マナロ 恭子(関目教室・今福教室)

カイチのクリスマス会、年を取るごとに楽しむようになってきたなと感じます。狭い教室にたくさんの子供達が集まるので、はしゃいでケガをしないかとか、どんな風に子供達と関われば良いのか分からなかったりして、若い頃は不安や緊張感ばかりでした。数年経って慣れてきた頃は、クリスマス会の準備や後片付けを思うと少々しんどい思いが湧き上がってきました。そのまた数年後には育休でクリスマス会に参加することがなくなり、また数年後にはコロナ禍でクリスマス会自体がなくなりました。こうなるとだいぶ寂しく思うようになりました。

そしてカイチのクリスマス会が復活してからは、私もだいぶ年を取りましたので、子供達と一緒にクリスマス会を心待ちにするようになり、当日もお手伝いをしながら食べたり遊んだりして目一杯楽しむようになっていました。今年はラーメン1杯、ジュース2杯、フランクフルト1本、ミルクせんべい2組、たこせん2枚と食べつくしました(笑)。「たこせん2枚も食べてしまうたわ!」と思っていると、隣で坪田先生が3枚目を食べていました。上には上がっているものです。



いつも感心するのはお店を担当する上級生の生徒達。売り方も様々で工夫が見られるし、下級生への配慮も素晴らしいのです。「熱いからこ持ちや、大丈夫か?持っていけたるか?」という優しい声かけや、もじもじしてなかなか「それください」と言えない子にもゆっくり待ってあげる姿勢。授業では見るこ

とができない生徒達の本当の姿を見ることが出来る唯一のイベントだと思います。

締めくくりはお馴染みのビンゴ大会!関目教室は井上先生、いやイノウエもんが盛り上げてくれました。いつの時代も一番盛り上がるのは「う〇こ」のおもちゃです。なぜそんなに盛り上がるのか女子には永遠に解かりかねます。でも「金のう〇こ」はちょっとほしいなと思いました。



とにかく生徒はもちろん先生達もめちゃめちゃ元気!一緒に食べたり飲んだりのはしゃいだりしてどっちが子供か分からないくらい!

最近、このカイチのクリスマス会やビンゴ大会がカイチ内だけにおさまっているのがもったいないなと思っています。このような昭和っぽいイベントを取り入れている塾って他にないと思います。準備も大変ですから。カイチのイベントを地域に貢献できないかな



と勝手に思っています。もっとたくさんの子供達がカイチのイベントで笑顔になって「楽しかった～」と心から思える日が1日でも増えたらいいですね。でも今まだカイチはそんな力がありませんので、とりあえずは皆さんがお友達をカイチに連れてきてください。ね。「元気になる塾だよ」と教えてあげてください♪

